

報道関係各位

平成 14 年 2 月 20 日
XML 技術者育成推進委員会

富士通株式会社を XML 技術者育成推進委員会の理事会員に認定

～ XML 技術者認定制度『XML マスター』を強力に推進～

インターネット時代の標準技術である XML の技術者育成を推進する団体 XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学常任理事 兼 W3C Associate Chairperson、以下「委員会」）は、富士通株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋草直之、以下「富士通」）を XML 技術者認定資格『XML マスター』の運営母体である「XML 技術者育成推進委員会」に「理事会員」として認定したことを発表しました。

委員会は、富士通が XML 技術者育成推進委員会の理事会員に就任されたことを歓迎します。委員会は、富士通の XML 技術者育成に関する情報共有や販売促進支援などを全面的に支援し、富士通が『XML マスター』の上位レベル資格策定の際に、理事会員として貢献していただけることを期待します。

『XML マスター』は、公官庁系や BtoB（企業間電子商取引）等の XML 市場の拡大に備えた、XML の標準的技術レベルを認定するベンダーに依存しない XML 技術者認定制度です。「e-Japan 構想」の本格化等により XML 技術者のニーズは急速に高まり、多くの大手企業において部門をまたがる全社的採用が浸透してきています。

委員会は、XML の技術レベル及び支援体制の規模が国内トップである富士通が XML 技術者育成推進委員会の理事会員に就任したことで、『XML マスター』のさらなる普及を目指します。

XML マスターについて

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に、XML 技術者育成推進委員会によって発足された認定制度です。『XML マスター』の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。『XML マスター』の試験では、XML の基礎として、XML とは何か、動向や概要、XML の構造についての入門知識から、XSLT の概要や変換の仕組みや XML から HTML への変換方法、および XML の文書構造をあらわすスキーマの作成方法を理解しているかどうかを評価します。詳細はこちら：<http://www.xmlmaster.org/>

XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会は、以下の企業および団体によって構成されます。(50 音順)

- ・インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎）
- ・NECソフト株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：関 隆明）
- ・株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、取締役社長：大塚 裕司）
- ・株式会社日立システムアンドサービス（本社：東京都大田区、社長：名内泰藏）
- ・株式会社 P F U（東京本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：片野英司）
- ・キャノンソフトウェア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 明）
- ・シーアイエス株式会社（東京都港区、代表取締役社長：戸高 修）
- ・日本電気株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：西垣 浩司）

- ・XMLコンソーシアム
（会長：鶴保 征城 NTT ソフトウェア株式会社 代表取締役社長、会員企業：200 社）
- ・外資系情報産業研究会（略称：FIIF）
（会長：渡辺邦昭 日本アリバ株式会社 代表取締役社長、会員企業：32 社）

《新規加盟》

- ・富士通株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋草 直之）

<お問い合わせ先>

XML技術者育成推進委員会事務局（インフォテリア内）

office@xmlmaster.org	（電子メール）
http://www.xmlmaster.org/	（ウェブサイト）
吉政（よしまさ）	（担当）